

- ◆企画名 KU サポーターズ春季自主研修合宿
日 程 平成 26 年 2 月 28 日 (金) ～3 月 2 日 (日)
場 所 高槻キャンパス高岳館
参加者数 22 名 (ピア・サポーター 15 名、研修生 3 名、学生支援室 TA 1 名、職員 2 名、卒業生 1 名)

目 的

KU サポーターズの一年間の活動を振り返り、来年度の活動計画及び活動指針の再検討を行う。また、ほっこり相談室における相談対応についてや、相談室の改善についてメンバー全員で話し合う場をもち、全メンバーのスキルアップを図ることを目的とする。

内 容

- 来年度の活動のためのミーティングとスキルアップのためのワーク、1年間の活動の振り返り、その他リフレッシュのためのボディワークやレクリエーションを行った。
- ・学部生メンバーの KU サポーターズについての考えを共有。
 - ・1年間の活動内容を振り返り、情報共有した上で生まれた改善点や反省点を発表した。
 - ・鶴飼先生による、ほっこり相談室の業務についての研修（講義＋実践）
 - ・来年度の年間計画と今年度のほっこり相談室の活動を振り返り、その改善点について全員で話し合った。
 - ・書道のワークを通して、メンバーの団結力を向上させた。
 - ・個人間でイメージカラーを伝え合い、互いに相手の事を考える機会を作った。

感 想

多くのメンバーが一斉に集まる場で、これまでの活動やこれからの活動についての話し合いができたのは意義があった。今後の活動に活かしていきたい。

また、「共感的理解を理解する」をテーマに、利用者の気持ちを理解する練習と自分の傾向を知ること、相談対応の質を向上させることができたように思う。これからも半年に1度の研修を行っていきたい。

この合宿で行ったワークやミーティング等を通して、KU サポーターズ全体の「団結力」が深まったように思う。

改 善 点

時間通りに行われなかったワークやミーティングが多かった。今後はタイムスケジュールの管理をしっかりと行う必要がある。

メンバー間で仕事量に差が生じたので、みんなで協力して合宿を成功させることができるようにしていかなければならない。

ミーティングにおいては、事前の準備が十分に出来たとは言えず、進行が滞る場面が多かった。今後は代表三役が事前の準備を詰めて行うことが求められる。

